

ソフトウェアプレイガイド



# 元気はつらつ! チャレンジ

プレイ人数 1人 所要時間 約15分

世界で広く使われている認知機能検査「MMSE」  
をクイズゲーム風アレンジした検査アプリ

 **TOYOMARU**

**POINT**

認知症加算

MMSE

職員向け

## 目次

1. アプリの概要	・・・	1 ページ
2. 初回起動時の設定	・・・	1 ページ
3. プレイモードの説明	・・・	2 ページ
4. 「読む／設定」モード	・・・	4 ページ
4-1. 「MMSE」検査マニュアルを閲覧する場合	・・・	4 ページ
4-2. 本アプリの各種設定を変更する場合	・・・	5 ページ
・検査者を追加登録する場合	・・・	6 ページ
・検査者情報を変更する場合	・・・	6 ページ
・検査者情報を削除する場合	・・・	7 ページ
・市町村区を設定する場合	・・・	8 ページ
・管理者パスワードを変更する場合	・・・	8 ページ
5. 「見る／遊ぶ」モード	・・・	10 ページ
5-1. 過去の検査記録を確認する場合	・・・	10 ページ
・検査結果概要表示画面の見方	・・・	11 ページ
・詳細結果表示画面の見方	・・・	12 ページ
5-2. 検査を実施する場合	・・・	13 ページ
・検査画面の見方	・・・	13 ページ
・質問 1 時間の見当識	・・・	15 ページ
・質問 2 場所の見当識	・・・	17 ページ
・質問 3 即時想起	・・・	19 ページ
・質問 4 計算	・・・	21 ページ
・質問 5 遅延再生	・・・	23 ページ
・質問 6 物品呼称	・・・	24 ページ
・質問 7 文の復唱	・・・	26 ページ
・質問 8 口頭指示	・・・	27 ページ
・質問 9 書字指示	・・・	29 ページ
・質問 10 自発書字	・・・	30 ページ
・質問 11 図形模写	・・・	31 ページ
・結果発表	・・・	32 ページ
・検査結果の保存	・・・	33 ページ
6. プレイ履歴データの出力について	・・・	34 ページ

## 1. アプリの概要

本アプリは、世界的に用いられている認知症検査キット「MMSE」を忠実に再現しつつ、被験者の心理的抵抗を軽減し、リラックスして検査に臨めるよう、ゲーム風の装いを加えたものです。

BGM が流れる和やかな雰囲気の中、検査者（職員）が出題者となり、被験者（利用者）が「金メダル獲得」を目標としてクイズに挑戦する形で認知症検査を進めていくことができます。

検査内容は認知機能を構成する要素（分野）ごとに分かれており、11の質問に対し、全30項目を答えていきます。被験者により差はありますが、所要時間はおおむね15分から25分程度です。

検査結果はテーブル内部にデータとして保存され、検査スコアのみならず、推移や詳細傾向まで追跡確認することが可能です。

MMSE 検査マニュアルに準拠しているため、画面操作には多少の慣れが必要となります。本プレイガイドをよくお読みいただき、事前に操作練習していただくことをおすすめします。

## 2. 初回起動時の設定

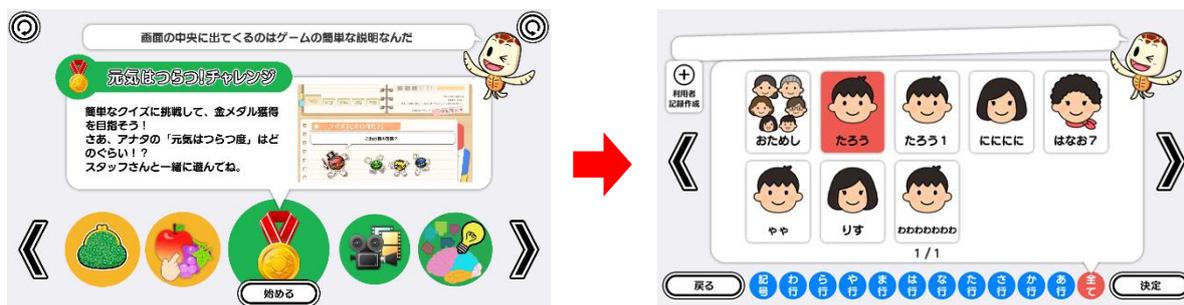
初回起動時には、「管理者パスワード」および1名の検査者の登録を求める画面が表示されます。

「管理者パスワード」は、本アプリの設定等を変更する際に必要となるもので、1つだけ登録することが出来ます。

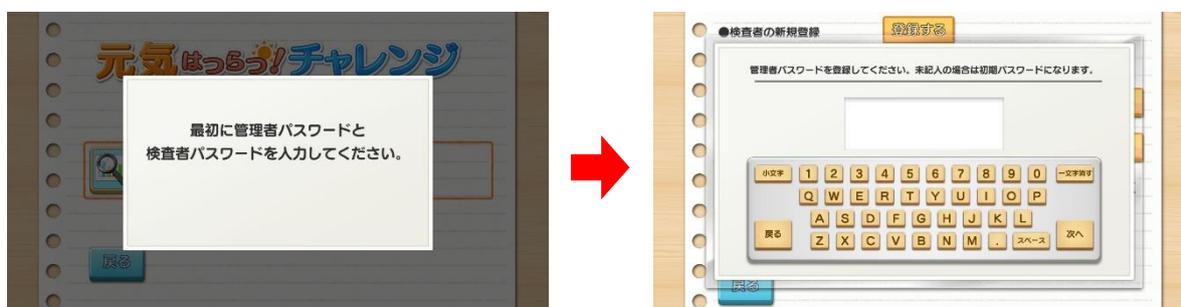
検査者は、本アプリを用いて認知症検査を行う人を指し、MMSE 実施要領に基づき、「誰が検査を行ったか」を記録するために必要となる情報です。初回起動時には1名の検査者の登録作業を行いますが、後で検査者を追加することが可能です（最大20名まで登録可能です）。

この初期設定作業を行わないと本アプリが使用可能となりません。また、「管理者パスワード」を忘れてしまうと設定変更等の操作が出来なくなりますので、何らかの方法で確実に保管するようにして下さい。

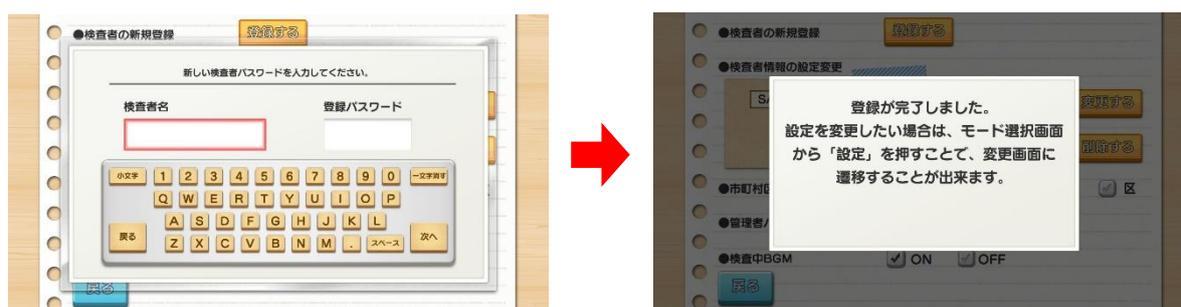
- ① アプリ選択画面から「元気はつらつ！チャレンジ」を選び、任意のユーザーを選択して「決定」をタッチします。



- ② 以下の画面が表示されますので、「管理者パスワード」を5文字以内で入力して「次へ」をタッチします。初期パスワードは「00000」（ゼロが5つ）です。



- ③ 次に検査者を登録します。検査者名をキーボードで入力後、「次へ」をタッチ、同様にパスワードを入力して「次へ」をタッチすると登録完了です。



### 3. プレイモードの説明

本アプリには、以下の2つモードが存在します。

- ・「読む／設定」モード
- ・「見る／遊ぶ」モード

ユーザー（被験者）選択の際、「おためし」を選択した場合は「読む／設定」モードとなり、検査マニュアルを読んだり、本アプリの設定を変更することが出来ます。個人を選択した場合は「見る／遊ぶ」モードとなり、過去の検査記録を閲覧したり、検査を実施することができます。



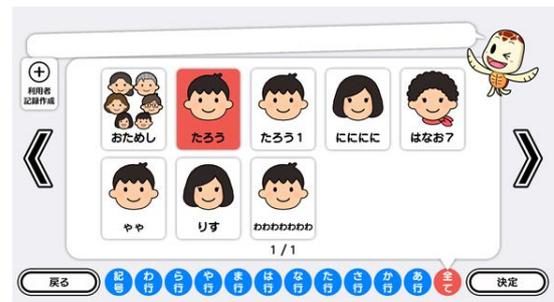
（「元気はつらつ！チャレンジ」を選択）

【「読む／設定」モードへの入り方】

【「見る／遊ぶ」モードへの入り方】



（「おためし」を選択）



（個人ユーザーを選択）



（検査者パスワードを入力）



（検査者パスワードを入力）



「読む／設定」モードへ



「見る／遊ぶ」モードへ

## 4. 「読む／設定」モード

「読む／設定」モードでは、「MMSE」検査マニュアルを閲覧したり、本アプリの詳細設定を変更することができます。

### 4-1. 「MMSE」検査マニュアルを閲覧する場合

- ① モード選択画面から「読む」を選択すると、「MMSE」検査マニュアル画面が表示されます。検査マニュアル画面の「戻る」をタッチすると、モード選択画面に戻ります。



- ② 検査マニュアル画面右側の目次の各トピックをタッチすると、当該トピックに関する詳細説明が左側のメイン画面に表示されます。説明内容が多く、単一画面で表示し切れない場合は、メイン画面を指で下にスクロールします。



## 4-2. 本アプリの各種設定を変更する場合

**注意：この操作を行うには管理者パスワードが必要となります**

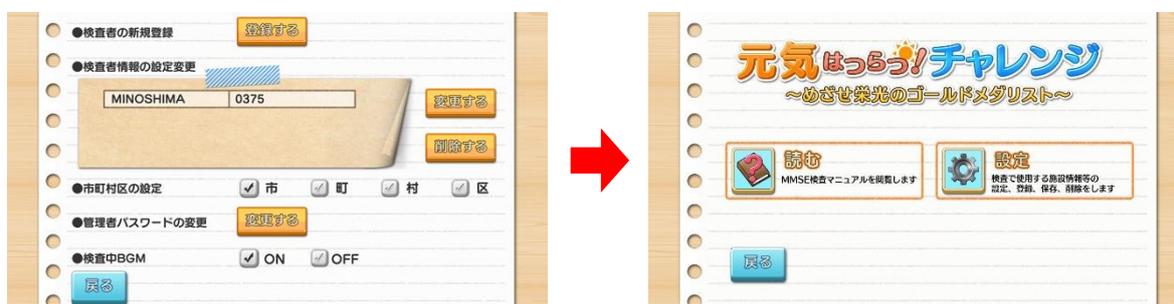
- ① モード選択画面から「設定」を選択すると、管理者パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力します。



(モード選択画面)

(管理者パスワード入力画面)

- ② 現在の設定・登録状況が表示されます。設定画面の「戻る」をタッチすると、モード選択画面に戻ります。

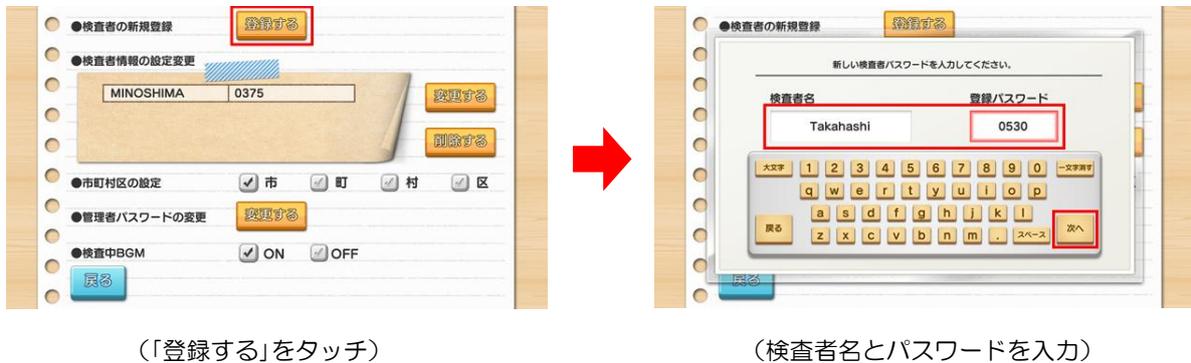


(設定画面)

(モード選択画面)

【検査者を追加登録する場合】

- ① 「●検査者の新規登録」の項の右側にある「登録する」ボタンをタッチすると、検査者登録画面が表示されます。検査者名およびパスワードを入力して「次へ」をタッチします。



（「登録する」をタッチ）

（検査者名とパスワードを入力）

- ② 「●検査者情報の設定変更」の欄に①で登録した内容が正しく表示されていることを確認して作業を終了します。間違えて登録してしまった場合は、【検査者情報を変更する場合】に記載された手順に従って登録内容を修正します。



（登録情報を確認）

【検査者情報を変更する場合】

- ① 「●検査情報の設定変更」の欄に表示されている検査者リストの中から、登録内容を変更したい検査者を選択した後、画面右側の「変更する」をタッチします。



（設定画面）

（検査者を選択して「変更する」をタッチ）

- ② 表示された修正入力画面にて内容を修正、「次へ」をタッチした後、「●検査者情報の設定変更」の欄に②で登録した内容が正しく表示されていることを確認して作業を終了します。



(登録内容を修正)



(修正した登録情報を確認)

**【検査者情報を削除する場合】**

- ① 「●検査情報の設定変更」の欄に表示されている検査者リストの中から、削除したい検査者を選択した後、画面右側の「削除する」をタッチします。

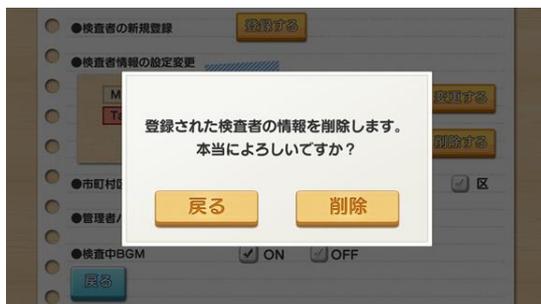


(設定画面)



(検査者を選択して「削除する」をタッチ)

- ② 確認画面が立ち上がりますので「削除する」をタッチした後、「●検査情報の設定変更」の欄に表示されている検査者リストの中から、登録が削除されていることを確認して作業を終了します。



(確認画面)



(削除されていることを確認)

## 【市町村区を設定する場合】

この設定情報は「質問 2-2」で使用しますので、初回の検査実施前までに必ず設定するようにして下さい。

- ① 本機器をお使いになる所在地の住所に合わせ、「●市町村区の設定」の項の「市町村区」の各分類を選択します。該当する分類をタッチすることでチェックが入り、設定作業は完了となります。



(設定画面)

(管理者パスワード入力画面)

「市」にチェック → 「質問 2-2」で、「ここは何市？」と質問します

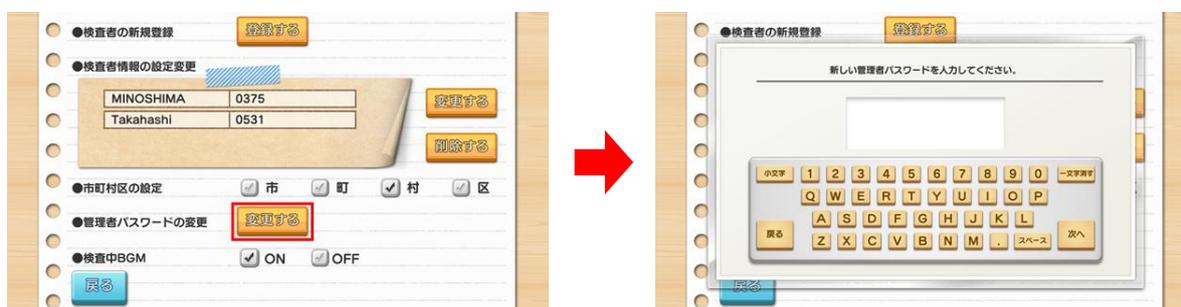
「町」にチェック → 「質問 2-2」で、「ここは何町？」と質問します

「村」にチェック → 「質問 2-2」で、「ここは何村？」と質問します

「区」にチェック → 「質問 2-2」で、「ここは何区？」と質問します

## 【管理者パスワードを変更する場合】

- ① 「●管理者パスワードの変更」の項の右側にある「変更する」をタッチすると、新しい管理者パスワードを入力する画面が表示されます。



(設定画面)

(新管理者パスワード入力画面)

② 新しい管理者パスワードを入力して「次へ」をタッチすると、確認画面が表示されますので、新しい管理者パスワードをもう一度入力した後、「次へ」をタッチします。



(新しいパスワードを入力)



(もう一度パスワードを入力)

③ 確認入力が正しく行われると、管理者パスワードが新しく更新されます。確認入力が正しく行われない場合、「パスワードが違います」のエラーメッセージが表示されますので、②の操作を最初からやり直します。



(更新完了)



(エラーメッセージ)

## 5. 「見る／遊ぶ」モード

「見る／遊ぶ」モードでは、過去の検査記録を閲覧したり、検査を実施することができます。

### 5-1. 過去の検査記録を確認する場合

- ① モード選択画面から「見る」を選択すると、過去 12 回の検査結果の概要が表示されます。検査結果概要表示画面の「戻る」をタッチすると、モード選択画面に戻ります。

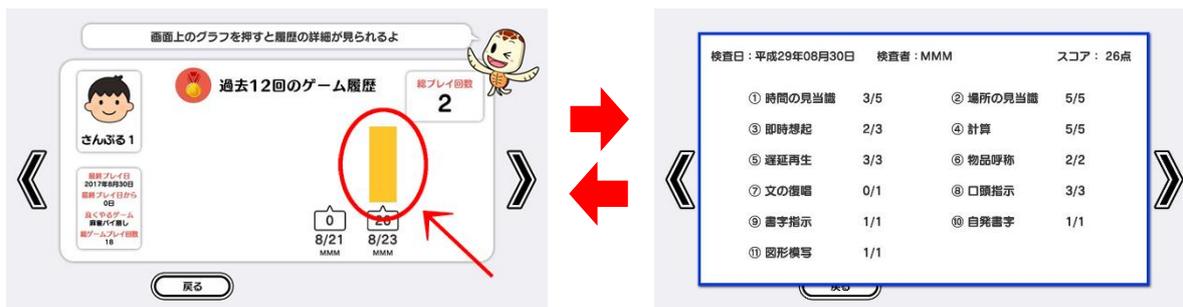


(モード選択画面)

(検査結果概要表示画面)

- ② 検査結果概要表示画面の棒グラフをタッチすると詳細結果が別窓で表示され、窓をふたたびタッチすると、検査結果概要表示画面に戻ります。

詳細結果を閲覧することで、認知機能を構成する要素のうち、どの分野にどのような傾向が見られるかを確認することができます。



(検査結果概要表示画面)

(詳細結果表示画面)

【検査結果概要表示画面の見方】



- ① 被験者名
- ② 検査スコア：0～30点（30点満点） ※スコア毎の詳細は【結果発表】（32ページ）に記載。
- ③ 検査実施日
- ④ 検査者名

## 【詳細結果表示画面の見方】

検査日：平成29年08月30日		検査者：MMM		スコア：26点	
① 時間の見当識	3/5	② 場所の見当識	5/5		
③ 即時想起	2/3	④ 計算	5/5		
⑤ 遅延再生	3/3	⑥ 物品呼称	2/2		
⑦ 文の復唱	0/1	⑧ 口頭指示	3/3		
⑨ 書字指示	1/1	⑩ 自発書字	1/1		
⑪ 図形模写	1/1				

① 認知機能を構成している要素（分野）

② 各要素（分野）における出題数およびスコア

→ 上例の場合、当該分野において全3問が出題され、うち2問に正解したことを表す

③ 注釈表記欄（②の後ろ）

→ [skip]、[stop] などが表示される場合があります

skip = 聴覚障害などの事情により検査実施が不可能なため、質問を飛ばしたことを表す

stop = 体調不良などの事情により、その時点で検査を途中終了したことを表す

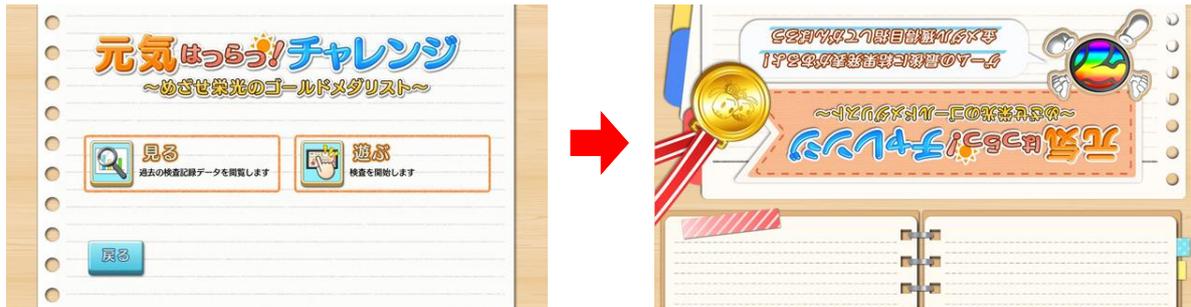
※ これらの表示条件は「◆ 検査進行用操作ボタンについて」（14ページ）に記載。

## 5-2. 検査を実施する場合

検査開始前に A5（A4 の半分程度）の紙を用意して下さい。後述の質問にて使用します。

検査中、被験者に体調不良が生じ、検査続行が困難となった場合は「やめる」ボタンをタッチして検査を終了して下さい。

- ① モード選択画面から「遊ぶ」を選択すると、認知症検査「MMSE」が開始されます。



### 【検査画面の見方】

（被験者側）



（検査者側）

- ① 被験者用「出題・解答」画面 …… 質問や手書き解答欄が表示されます（詳細次頁）
- ② 検査者用「操作」画面 …… 検査者が各種操作を行うための画面です
- ③ 注釈表示欄 …… 質問ごと、注意事項や判断基準などが表示されます
- ④ タイムバー …… 質問に対する解答の制限時間の残り具合が視覚的に表示されます
- ⑤ 正誤判定用チェック欄 …… 正答／不正答の判定を行います（詳細次頁）
- ⑥ 検査進行用操作ボタン …… 検査を適切に進行するために使用します（詳細次頁）

## ◆ 被験者用「出題・解答」画面について（詳細）

この画面には、文字による質問表示に続き、手書き解答欄が表示されます。検査は基本的に口頭試問で行うため、手書き解答欄を使用する頻度は少ないですが、一部の質問に筆記解答を求めるものがあるほか、言語障害がある被験者が解答する際に使用します。

## ◆ 正誤判定用チェック欄について（詳細）

「正答」の場合、チェックを入れます（「不正答」の場合、チェックは入れません）。

複数の判定項目が存在する質問では、判定項目ごと「正答」の場合はチェックを入れ、「不正答」の場合はチェックを入れないという操作を行います。

## ◆ 検査進行用操作ボタンについて（詳細）

ボタンの種類	内容
「開始」	質問を始める時に使用します。
「省略」	視覚障害など、被験者の身体的事情により当該質問をスキップする必要がある場合にのみ使用します。一部の質問を除き、「開始」をタッチした後は操作無効となります。詳細結果表示画面に「skip」と表示されます。
「やめる」	急な体調不良の発生など、やむを得ず検査を途中で中止する時に使用します。詳細結果表示画面に「stop」と表示されます。
「済み」	当該質問に入る前までに、既に正答を得てしまっている場合、当該質問を実施することなく、正答扱いとして省略することが出来ます。 同じ内容の質問および解答を重複して繰り返さなくて済むため、検査をスムーズに進行することが出来ます。
「繰り返し」	質問やキーワードなどを再度読み上げる時に使用します。
「継続」	複数の問いかけが含まれる質問にのみ使用します。 タッチすると、当該質問の中で、次の問いかけへ進むことが出来ます。 ※ 「次へ」との違いに注意
「消す」	手書き解答欄に書かれた内容を消去する時に使用します。
「次へ」	次の質問へ進む時に使用します。

## ▲ 注意

各操作ボタンは、使用する必要がないもしくは使用してはいけないのが明らかな場面では、自動的に無効化されますが、使用する可能性がある場面ではすべて有効となっています。

操作を間違えると正しく検査が行えませんので、十分に注意していただく必要があります。

【質問 1 時間の見当識】

質問 1 では「時間の見当識」について検査します。「1-1」～「1-5」までの5問で構成されています。

- 「今日は何年？」 [質問 1-1]
- 「今日は何月？」 [質問 1-2]
- 「今日は何日？」 [質問 1-3]
- 「今日は何曜日？」 [質問 1-4]
- 「今の季節は？」 [質問 1-5]

- ① 「開始」をタッチすると、[質問 1-1] が開始され、画面に質問内容（「今日は何年？」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。



（[質問 1-1]）

（画面に質問が表示される）

- ② 質問の読み上げが終わると解答可能状態となり、画面左下のタイムバーが作動を開始します。タイムバーの目盛りがなくなる 10 秒間のうちに被験者に解答していただきますが、あくまで目安ですので概ね 10 秒前後で解答できれば大丈夫です（タイムバーの目盛りがなくなった後も、正答／不正答の判定は可能です）。

概ね 10 秒間のうちに解答があり、それが正答である場合はチェック欄にチェックを入れ、「次へ」をタッチします。解答がない、もしくは不正答の場合は、チェックを入れずに「次へ」をタッチします。



（タイムバーが作動を開始）

（正答の場合）

**解答に対する正答／不正答の判断に迷う場合は、画面左下の注釈表示欄を参考とします。**

- ③ [質問 1-1] で「平成 30 年 9 月」など、[質問 1-2]（「今日は何月？」）に対する正答がすでにあった場合は、「開始」をタッチせず、チェック欄にチェックを入れて「済み」をタッチすることで [質問 1-2] を正答扱いにして省略することが出来ます（先に正答があった場合のみ使用できます。先解答が不正答の場合には、下記手順で [質問 1-2] を実施します）。

前述の①と同様、「開始」をタッチすると [質問 1-2] が開始され、画面に質問内容（「今日は何月？」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。開始後は、②と同じ操作手順で [質問 1-2] を実施します。



（[質問 1-2]）



（「済み」ボタンを使用して正答とする場合）

- ④ 前述の③と同様に画面を操作して、[質問 1-3]、[質問 1-4]、[質問 1-5] を実施します。

[質問 1-5] については質問内容（下記参照）から考えた場合、先解答による正答は考えにくい  
ため、「済み」ボタンを使用して正答扱いとする操作を行うことはほとんどありません。

- [質問 1-3] → 「今日は何日？」
- [質問 1-4] → 「今日は何曜日？」
- [質問 1-5] → 「今の季節は？」

質問 1 では、「省略」ボタンが有効となっていますが、視覚障害・聴覚障害のある方でも検査可能な内容となっていますので、**使用することはほとんどありません。**

（質問 1 終了）

【質問2 場所の見当識】

質問2では「場所の見当識」について検査します。「2-1」～「2-5」までの5問で構成されています。

「ここは都道府県で言うとどこ？」 [質問2-1]

「ここは何市？」 [質問2-2]

「ここはどこ？」 [質問2-3]

「ここは何階？」 [質問2-4]

「ここは何地方？」 [質問2-5]

- ① 「開始」をタッチすると、[質問2-1] が開始され、画面に質問内容（「ここは都道府県で言うとどこ？」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。



([質問2-1])



(画面に質問が表示される)

- ② 質問の読み上げが終わると解答可能状態となり、画面左下のタイマーが作動を開始します。タイマーの目盛りがなくなる10秒間のうちに被験者に解答していただきますが、あくまで目安ですので概ね10秒前後で解答できれば大丈夫です（タイマーの目盛りがなくなった後も、正答／不正答の判定は可能です）。

概ね10秒間のうちに解答があり、それが正答である場合はチェック欄にチェックを入れ、「次へ」をタッチします。解答がない、もしくは不正答の場合は、チェックを入れずに「次へ」をタッチします。



(タイマーが作動を開始)



(正答の場合)

**解答に対する正答／不正答の判断に迷う場合は、画面左下の注釈表示欄を参考とします。**

- ③ [質問 2-1] で「愛知県名古屋市」など、[質問 2-2]（「ここは何市？」）に対する正答がすでにあった場合は、「開始」をタッチせず、チェック欄にチェックを入れて「済み」をタッチすることで [質問 2-2] を正答扱いにして省略することが出来ます（先に正答があった場合のみ使用できます。先解答が不正答の場合には、下記手順で [質問 2-2] を実施します）。

前述の①と同様、「開始」をタッチすると [質問 2-2] が開始され、画面に質問内容（「ここは何市？」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。開始後は、②と同じ操作手順で [質問 2-2] を実施します。



（[質問 2-2]）



（「済み」ボタンを使用して正答とする場合）

- ④ 前述の③と同様に画面を操作して、[質問 2-3]、[質問 2-4]、[質問 2-5] を実施します。

- [質問 2-3] → 「ここはどこ？」  
 [質問 2-4] → 「ここは何階？」  
 [質問 2-5] → 「ここは何地方？」

質問 2 では、「省略」ボタンが有効となっていますが、視覚障害・聴覚障害のある方でも検査可能な内容となっていますので、**使用することはほとんどありません。**

（質問 2 終了）

【質問3 即時想起】

質問3では「即時想起」について検査します。質問は1つのみですが、判定項目が3つあります。また、「繰り返し」ボタンを使用する場面があります。

また本質問は音声読み上げによる質問となります。聴覚に障害がある（質問3をスキップした）方の場合には「省略」をタッチしてスキップして下さい。

「今から言う3つの言葉を覚えて言ってみて」

「さくら」・「ねこ」・「でんしゃ」

- ① 「開始」をタッチすると質問が開始され、画面に質問内容（「今から言う3つの言葉を覚えて言ってみて」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。

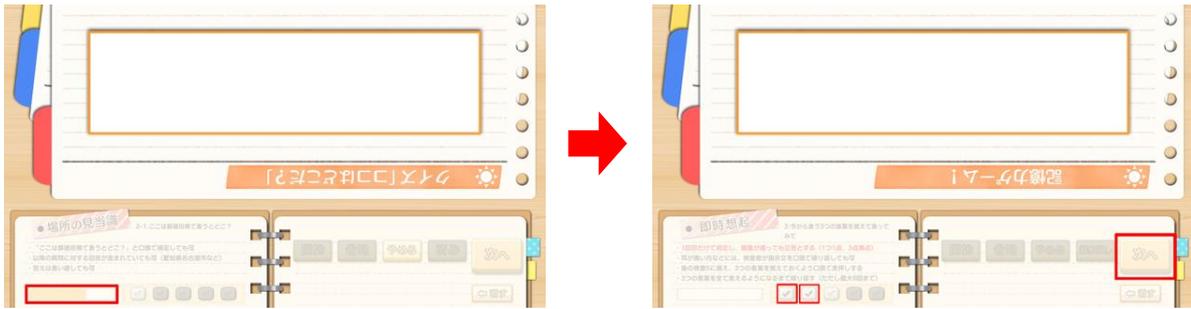


（[質問3]）

（画面に質問が表示される）

- ② 質問に続いて、3つの言葉（「さくら」・「ねこ」・「でんしゃ」）を音声で読み上げます。（画面上には表示されません）
- ③ 言葉の読み上げが終わると解答可能状態となり、画面左下のタイムバーが作動を開始します。タイムバーの目盛りがなくなる10秒間のうちに被験者に②の3つの言葉を言っていただきますが、あくまで目安ですので概ね10秒前後で解答できれば大丈夫です（タイムバーの目盛りがなくなった後も、正答／不正答の判定は可能です）。

概ね10秒間のうちに解答があり、それがすべて正答である場合はチェック欄にチェックを3つ入れ、「次へ」をタッチします。正答が2つの場合はチェックを2つ、正答が1つの場合はチェックを1つ、解答がない、もしくは正答が1つもない場合は、チェックを入れずに「次へ」をタッチします。



(タイマーが作動を開始)

(正答が2つの場合)

- ④ この質問は、あとでもう一度出題されます。③で3つとも正答出来なかった場合、あとの質問に備えて3つの言葉を覚える練習をここで行います (3つとも正答の場合は行いません)。

「繰り返し」をタッチする毎に、3つの言葉(「さくら」・「ねこ」・「でんしゃ」)を音声で読み上げますので、それに続いて被験者には3つの言葉を言っていただきます。3つの言葉をすべて覚えて言えるようになるまで反復練習を行って下さい(最大6回まで)。

3つの言葉をすべて言えるようになるか、反復練習を6回行ったら練習を終了し、「次へ」をタッチします。



(同じ質問があともう一度出題される)



(全問正答以外は反復練習を行う)

(質問3 終了)

## 【質問4 計算】

質問4では「計算」について検査します。質問は1つのみですが、同じ計算を5回繰り返すため、判定項目が5つあり、「**継続**」ボタンを使用します。

「100から順に、7を繰り返し引いてみて」

$$100 - 7 = 93$$

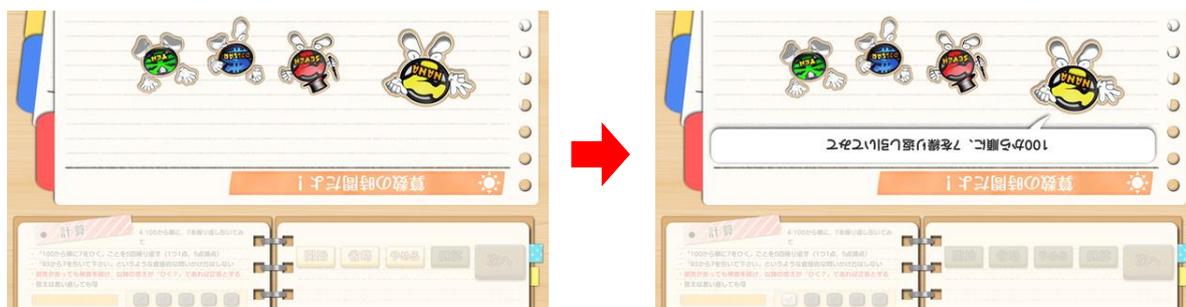
$$93 - 7 = 86$$

$$86 - 7 = 79$$

$$79 - 7 = 72$$

$$72 - 7 = 65$$

- ① 「開始」をタッチすると質問が開始され、画面に質問内容（「100から順に、7を繰り返し引いてみて」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。



（〔質問4〕）

（画面に質問が表示される）

- ② 質問の読み上げが終わると解答可能状態となり、画面左下のタイムバーが作動を開始します。タイムバーの目盛りがなくなる10秒間のうちに被験者に1つ目の答えについて解答していただきますが、あくまで目安ですので概ね10秒前後で解答できれば大丈夫です（タイムバーの目盛りがなくなった後も、正答／不正答の判定は可能です）。

概ね10秒間のうちに解答があり、それが正答である場合はチェック欄にチェックを入れ、「継続」をタッチします。解答がない、もしくは不正答の場合は、チェックを入れずに「継続」をタッチします。

ここでは基本的に「継続」ボタンを使用します。「次へ」ボタンをタッチしてしまうと、質問4を強制終了し、質問5へ移行してしまいます。質問4を続ける場合は必ず「継続」ボタンをタッチして下さい。「次へ」ボタンを使用するのは、5回の計算をやり終えて質問5へ進む時か、計算をこれ以上繰り返し続けることは困難と判断して質問4を強制終了させる時のみです。



(タイマーが作動を開始)

(判定後は「継続」ボタンをタッチ)

**解答に対する正答／不正答の判断に迷う場合は、画面左下の注釈表示欄を参考とします。**

- ③ 「開始」をタッチすると質問が継続され、画面に質問内容（「そこから7を繰り返し引いてみて」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。その後は②と同じ操作手順で2回目の計算を実施します。2回目の計算では、左から2つ目のチェックボタンを使用します。

計算をこれ以上繰り返し続けることは困難と判断する場合は、「次へ」をタッチして質問4を強制終了させ、質問5へ進みます。



(2回目の計算)



(左から2つ目のチェックボタンを使用)

- ④ 前述の③と同様に画面を操作して、3回目・4回目・5回目の計算を実施します。5回目の計算を終えた後は「次へ」をタッチします。



(5回目の計算終了後は「次へ」をタッチ)

質問4では、「省略」ボタンが有効となっていますが、視覚障害・聴覚障害のある方でも検査可能な内容となっていますので、**使用することはほとんどありません。**

(質問4 終了)

【質問5 遅延再生】

質問5では「遅延再生」について検査します。質問は1つのみですが、判定項目が3つあります。  
 また本質問は音声読み上げによる質問となります。聴覚に障害がある（質問3をスキップした）方の場合には「省略」をタッチしてスキップして下さい。

「さっき言った3つの言葉は何だったっけ？」

- ① 「開始」をタッチすると質問が開始され、画面に質問内容（「さっき言った3つの言葉は何だったっけ？」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。

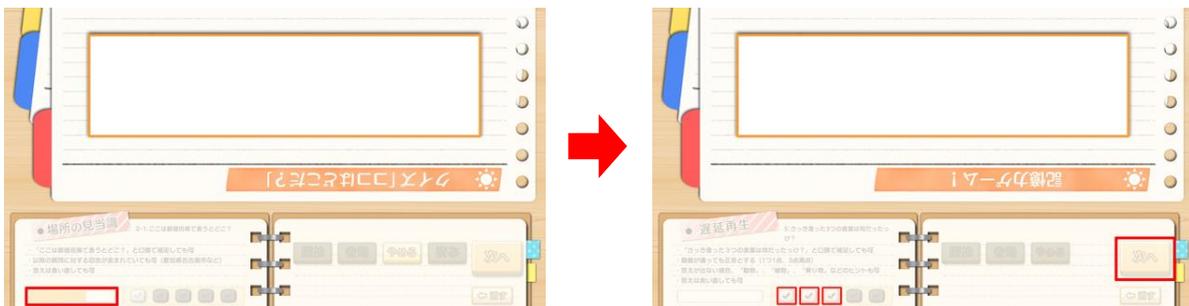


（[質問5]）

（画面に質問が表示される）

- ② 質問の読み上げが終わると解答可能状態となり、画面左下のタイムバーが作動を開始します。タイムバーの目盛りがなくなる10秒間のうちに被験者に②の3つの言葉を言っていただきますが、あくまで目安ですので概ね10秒前後で解答できれば大丈夫です（タイムバーの目盛りがなくなった後も、正答／不正答の判定は可能です）。

概ね10秒間のうちに解答があり、それがすべて正答である場合はチェック欄にチェックを3つ入れ、「次へ」をタッチします。正答が2つの場合はチェックを2つ、正答が1つの場合はチェックを1つ、解答がない、もしくは正答が1つも無い場合は、チェックを入れずに「次へ」をタッチします。



（タイムバーが作動を開始）

（3つとも正答の場合）

（質問5 終了）

【質問6 物品呼称】

質問6では「物品呼称」について検査します。質問は1つのみですが、類似した問いかけを2回行うため、判定項目が2つあり、「**継続**」ボタンを使用します。

また本質問は画像の名称についての質問となります。視覚障害がある方の場合には「**省略**」をタッチしてスキップして下さい。

「これは何の写真？」

- ① 「開始」をタッチすると質問が開始され、画面に質問内容（「これは何の写真？」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。



（[質問6]）

（画面に質問が表示される）

- ② 質問の読み上げが終わると、対象物の写真が画面上に表示されます。写真が表示されると解答可能状態となり、画面左下のタイムバーが作動を開始します。タイムバーの目盛りがなくなる10秒間のうちに被験者に解答していただきますが、あくまで目安ですので概ね10秒前後で解答できれば大丈夫です（タイムバーの目盛りがなくなった後も、正答／不正答の判定は可能です）。

概ね10秒間のうちに解答があり、それが正答である場合はチェック欄にチェックを入れ、「継続」をタッチします。解答がない、もしくは不正答の場合は、チェックを入れずに「継続」をタッチします。



（タイムバーが作動を開始）

（判定後は「継続」ボタンをタッチ）

- ③ ふたたび画面に質問内容（「では、これは何の写真？」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げ、別の対象物の写真が画面上に表示されます。②と同様に、概ね10秒前後の間に解答していただき、左から2つ目のチェックボタンを使用して正答／不正答の判定を行った後、「次へ」をタッチします。



(2回目の問いかけ)



(左から2つ目のチェックボタンを使用)

(質問6 終了)

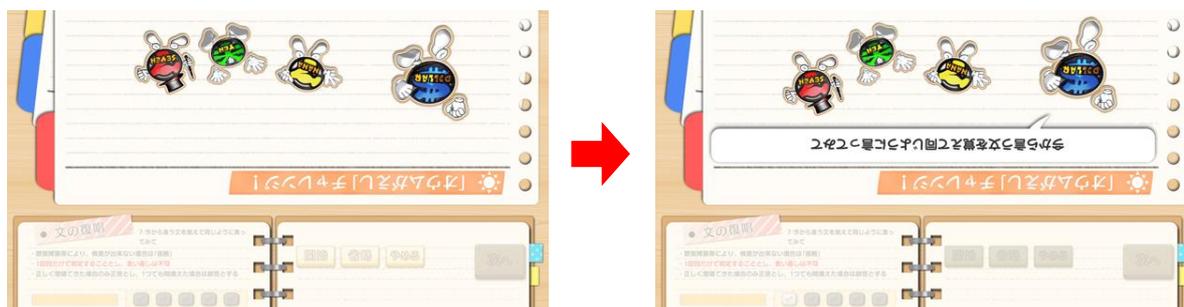
【質問7 文の復唱】

質問7では「文の復唱」について検査します。質問は1つのみです。

また本質問は音声読み上げによる質問となります。聴覚に障害がある（質問3をスキップした）方の場合には「省略」をタッチしてスキップして下さい。

「今から言う文を覚えて同じように言ってみて」

- ① 「開始」をタッチすると質問が開始され、画面に質問内容（「今から言う文を覚えて同じように言ってみて」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。

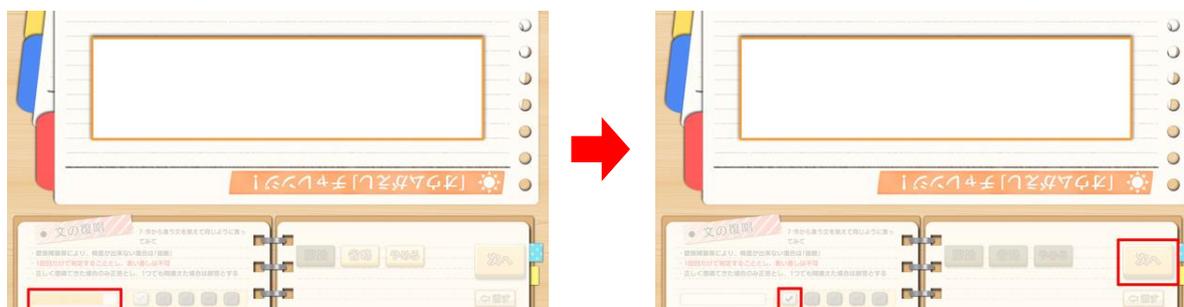


（[質問7]）

（画面に質問が表示される）

- ② 質問に続いて、「みんなで力を合わせて綱を引きます」という文章を音声で読み上げます（画面上には表示されません）。
- ③ 文章の読み上げが終わると解答可能状態となり、画面左下のタイムバーが作動を開始します。タイムバーの目盛りがなくなる10秒間のうちに被験者に②の文章を復唱していただきますが、あくまで目安ですので概ね10秒前後で解答できれば大丈夫です（タイムバーの目盛りがなくなった後も、正答／不正答の判定は可能です）。

概ね10秒間のうちに正しく復唱できた場合はチェック欄にチェックを入れ、「次へ」をタッチします。時間内に正しく復唱できない場合は、チェックを入れずに「次へ」をタッチします。



（タイムバーが作動を開始）

（正しく復唱できた場合）

（質問7 終了）

## 【質問8 口頭指示】

この検査を実施するにあたり、あらかじめ A5（A4 の半分程度）の紙を用意して下さい。

質問8では「口頭指示」について検査します。質問は1つのみですが、類似した問いかけを3回行うため、判定項目が3つあり、「**継続**」ボタンを使用します。

また本質問は音声読み上げによる質問となります。聴覚に障害がある（質問3をスキップした）方の場合には「**省略**」をタッチしてスキップして下さい。

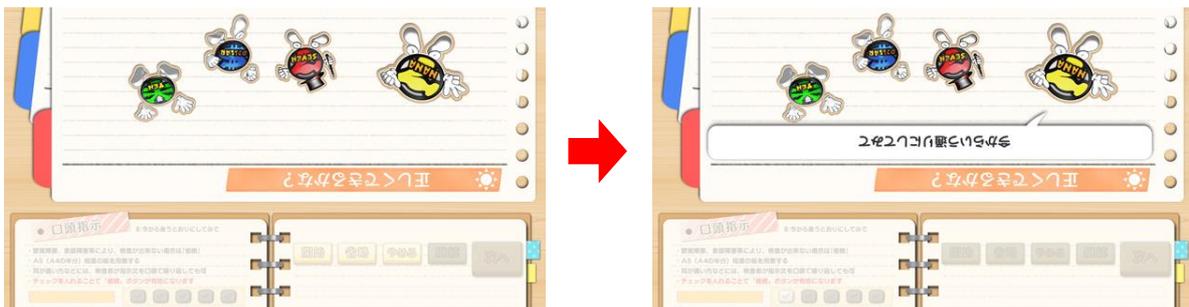
「今から言う通りにしてみてください」

「右手にこの紙を持って下さい」（指示①）

「それを半分に折りたたんで下さい」（指示②）

「それを職員さんに渡して下さい」（指示③）

- ① 「開始」をタッチすると質問が開始され、画面に質問内容（「今から言う通りにしてみてください」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。



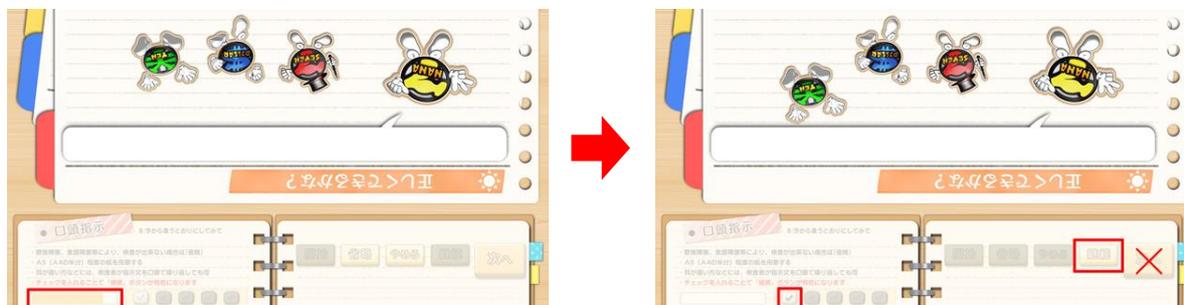
（〔質問8〕）

（画面に質問が表示される）

- ② 質問に続いて、「右手にこの紙を持って下さい」という指示を音声で読み上げます（画面上には表示されません）。
- ③ 文章の読み上げが終わると解答可能状態となり、画面左下のタイムバーが作動を開始します。タイムバーの目盛りがなくなる10秒間のうちに被験者に②で指示された動作を行っていただきますが、あくまで目安ですので概ね10秒前後で動作できれば大丈夫です（タイムバーの目盛りがなくなった後も、正答／不正答の判定は可能です）。

概ね10秒間のうちに正しく動作できた場合はチェック欄にチェックを入れ、「継続」をタッチします。時間内に正しく動作できない場合は、チェックを入れずに「継続」をタッチします。

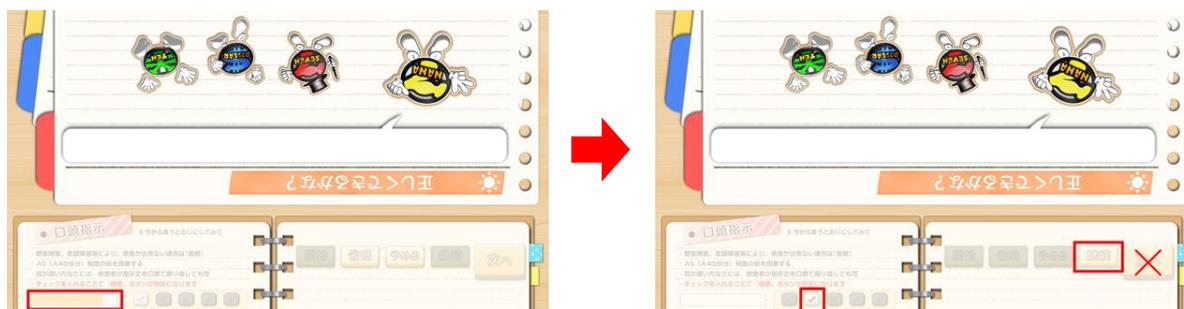
ここでは基本的に「継続」ボタンを使用します。「次へ」ボタンをタッチしてしまうと、質問8を強制終了し、質問9へ移行してしまいます。質問8を続ける場合は必ず「継続」ボタンをタッチして下さい。「次へ」ボタンを使用するのは、3つの検査をやり終えて質問9へ進む時か、検査をこれ以上繰り返し続けることは困難と判断して質問8を強制終了させる時のみです。



(タイマーが作動を開始)

(指示通りに動作できた場合)

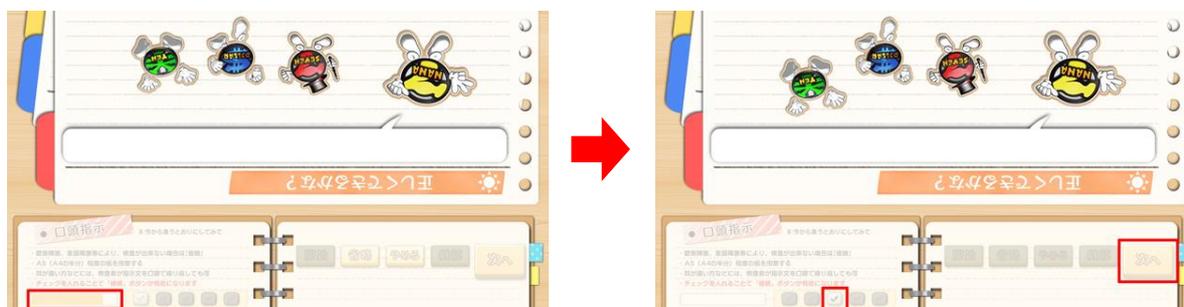
- ④ 質問が継続され、次に「それを半分に折りたたんで下さい」という指示を音声で読み上げます。その後は③と同じ操作手順で2つ目の検査を実施します。2つ目の検査では、左から2つ目のチェックボタンを使用します。



(2つ目の検査)

(左から2つ目のチェックボタンを使用)

- ⑤ 前述の④と同様に画面を操作して、3つ目の検査（「それを職員さんに渡して下さい」）を実施します。3つ目の検査を終えた後は「次へ」をタッチします。



(3つ目の検査)

(3つ目の検査を終えたら「次へ」をタッチ)

(質問8 終了)

【質問9 書字指示】

質問9では「書字指示」について検査します。質問は1つのみです。

また本質問は画面に表示されます（音声はありません）。視覚障害がある方の場合には「省略」をタッチしてスキップして下さい。

「文章を読んで、この通りにしてみてください」（画面表示と音声）

「目を閉じて下さい（めをとじてください）」（画面表示のみ。音声はなし）

- ① 「開始」をタッチすると質問が開始され、画面に質問内容（「文章を読んで、この通りにしてみてください」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。



（〔質問9〕）



（画面に質問が表示される）

- ② 質問に続いて、「目を閉じて下さい（めをとじてください）」という指示が画面に表示されます（音声による読み上げは行いません）。
- ③ 文章が画面に表示されると解答可能状態となり、画面左下のタイムバーが作動を開始します。タイムバーの目盛りがなくなる10秒間のうちに被験者に②で指示された動作を行っていただきますが、あくまで目安ですので概ね10秒前後で動作できれば大丈夫です（タイムバーの目盛りがなくなった後も、正答／不正答の判定は可能です）。

概ね10秒間のうちに正しく動作できた場合はチェック欄にチェックを入れ、「次へ」をタッチします。時間内に正しく動作できない場合は、チェック欄にはチェックを入れずに「次へ」をタッチします。



（指示内容が表示され、タイムバーが作動）



（指示通りに動作できた場合）

（質問9 終了）

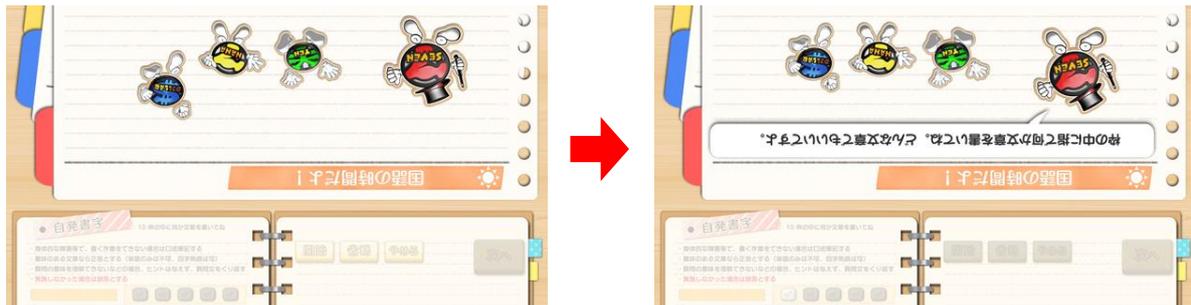
【質問 10 自発書字】

質問 10 では「自発書字」について検査します。質問は1つのみです。

視覚障害のある方については手書き解答ではなく、口頭試問による検査を実施します。

「枠の中に何か文章を書いてね。どんな文章でもいいですよ。」（画面表示と音声）

- ① 「開始」をタッチすると質問が開始され、画面に質問内容（「枠の中に何か文章を書いてね。どんな文章でもいいですよ。」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。



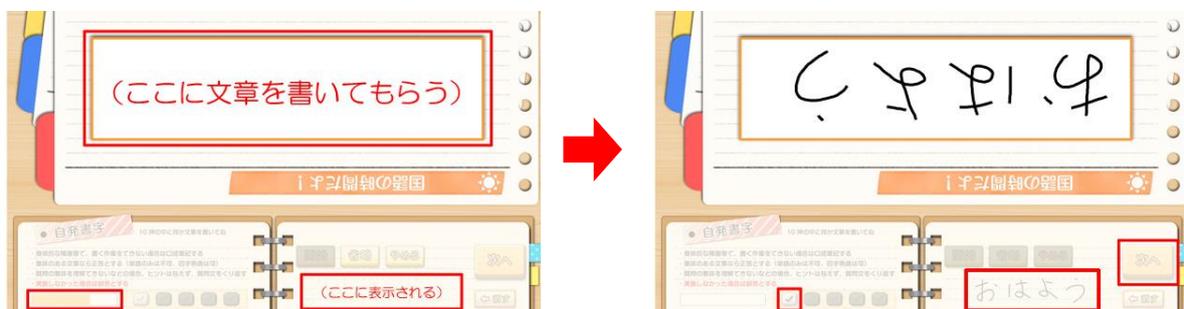
（[質問 10]）

（画面に質問が表示される）

- ② 質問の読み上げが終わると解答可能状態となり、画面左下のタイムバーが作動を開始します。タイムバーの目盛りがなくなる 10 秒間のうちに、手書き解答欄を使用して被験者に文章を書いていただきますが、あくまで目安ですので概ね 10 秒前後で解答できれば大丈夫です（タイムバーの目盛りがなくなった後も、正答／不正答の判定は可能です）。

手書き解答欄に書かれた内容は、検査進行用操作ボタン下部にて確認することができます。

概ね 10 秒間のうちに正しく解答できた場合はチェック欄にチェックを入れ、「次へ」をタッチします。時間内に正しく解答できない場合は、チェックを入れずに「次へ」をタッチします。



（時間内に被験者に文章を書いてもらう）

（正答の場合）

**解答に対する正答／不正答の判断に迷う場合は、画面左下の注釈表示欄を参考とします。**

質問 10 では、「省略」ボタンが有効となっていますが、視覚障害・聴覚障害のある方でも検査可能な内容となっていますので、**使用することはほとんどありません。**（質問 10 終了）

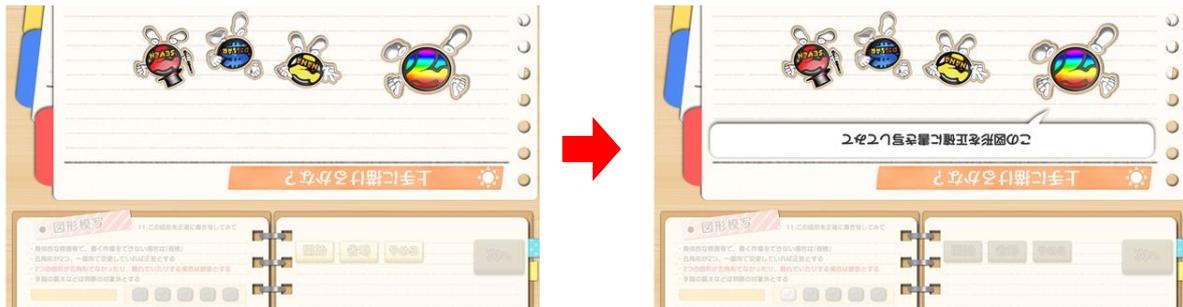
【質問 11 図形模写】

質問 11 では「図形模写」について検査します。質問は1つのみです。

視覚障害のある方はこの検査を受けることが出来ません。「省略」をタッチしてスキップして下さい。

「この図形を正確に書き写してみて」（画面表示と音声）

- ① 「開始」をタッチすると質問が開始され、画面に質問内容（「この図形を正確に書き写してみて」）が表示されるとともに、音声で質問を読み上げます。



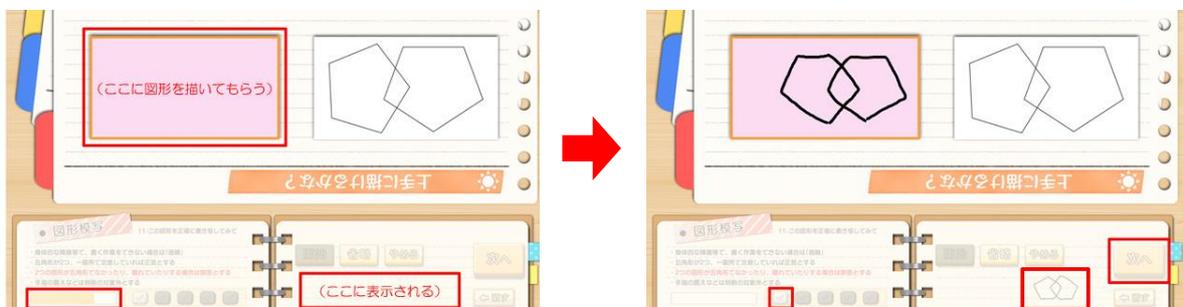
（[質問 11]）

（画面に質問が表示される）

- ② 質問の読み上げが終わると解答可能状態となり、画面左下のタイムバーが作動を開始します。タイムバーの目盛りがなくなる 10 秒間のうちに、手書き解答欄を使用して被験者に図形を描いていただきますが、あくまで目安ですので概ね 10 秒前後で解答できれば大丈夫です（タイムバーの目盛りがなくなった後も、正答／不正答の判定は可能です）。

手書き解答欄に描かれた内容は、検査進行用操作ボタン下部にて確認することができます。

概ね 10 秒間のうちに正しく作業できた場合はチェック欄にチェックを入れ、「次へ」をタッチします。時間内に正しく作業できない場合は、チェックを入れずに「次へ」をタッチします。



（時間内に被験者に図形を描いてもらう）

（正答の場合）

解答に対する正答／不正答の判断に迷う場合は、画面左下の注釈表示欄を参考とします。

（質問 11 終了）

【結果発表】

※ 本章では便宜上、被験者側から見た画面を使用して説明を行います

- ① 全ての問題が終了すると、検査結果の保存と結果発表が行われ、最初に 100メートル競走の演出が開始されます。3 コースの顔アイコンは被験者を表しています。



(検査終了)



(100メートル競走がスタート)

※ 検査結果の保存中は電源を切らないで下さい (データが正しく保存されません)

- ② 100メートル競走では、検査スコアに応じて順位が変動します。競争終了後、検査スコア (30点満点) を 100点満点に換算したスコアと、これに応じて獲得したメダルが表示されます。

結果発表後は終了画面が表示され、アプリ選択画面へ戻ります。



(スコアとメダルを表示)



(アプリ終了)

検査スコア	状態	ゲームスコア ※1	メダルの色 ※2
28～30点	健常	90～100点	金メダル
25～27点	軽度認知障害の疑いあり	80～89点	銀メダル
22～24点		70～79点	銅メダル
21点以下	認知症の疑いあり	69点以下	入賞

※1 検査の最後に行われる、被験者向けの結果発表時のスコア (100点満点に換算)

※2 検査の最後に行われる「100メートル走」ゲームで獲得できるメダルの色

## 【検査結果の保存】

検査後は、以下の検査結果データが履歴として記録、保存されます。

検査を途中で中止した場合および特定の質問をスキップした場合にも記録は保存され、中止やスキップの履歴も注釈として表記されます。

- 検査した日付
- 検査者名
- 検査スコア（30点満点）
- 各要素（分野）における詳細スコア



（検査結果概要表示画面）

検査日：平成29年08月30日 検査者：MMM スコア：26点

① 時間の見当識	3/5	② 場所の見当識	5/5
③ 即時想起	2/3	④ 計算	5/5
⑤ 遅延再生	3/3	⑥ 物品呼称	2/2
⑦ 文の復讐	0/1	⑧ 口頭指示	3/3
⑨ 書字指示	1/1	⑩ 自発書字	1/1
⑪ 図形模写	1/1		

戻る

（詳細結果表示画面）

テーブル内部に記録された検査結果履歴は、半永久的に保存されます（データフルの状態になると古いデータから順次削除されます）。

検査結果概要表示画面の検査履歴表示には、過去12回の検査結果履歴が表示されます。

## 6. プレイ履歴データの出力について

初めに画面左から管理画面を引き出します。次に管理画面上の「管理」ボタンをタッチすると管理画面詳細が表示されますので、「履歴データ取得」をタッチします。



以降の詳細な手順については、「トレパチ！テーブル取扱説明書」に従って操作をお願いします。